



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社 NITTOH

上場取引所 名

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-304-8210

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,149	1.2	277	18.9	303	15.6	199	16.0
2022年3月期第3四半期	7,067	11.4	342	49.5	359	42.5	238	40.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 202百万円 (2.6%) 2022年3月期第3四半期 208百万円 (12.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	49.34	
2022年3月期第3四半期	58.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,965	4,068	58.4
2022年3月期	6,512	3,921	60.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 百万円 2022年3月期 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.00	14.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	5.3	450	10.4	470	8.6	322	23.3	79.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,060,360 株	2022年3月期	4,060,360 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	7,257 株	2022年3月期	7,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	4,053,103 株	2022年3月期3Q	4,053,103 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策が、従来からの行動制限が徐々に緩和されはじめ、これにより、社会経済活動の正常化とともに、国内景気の緩やかな回復への期待が高まりました。しかしながら、依然として、世界的な金融引締め等の影響を受けた為替変動、ロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスクを背景として長期化している原材料価格やエネルギー資源価格の高騰、国内物価の上昇など、さまざまな経済活動に影響を与える景気下振れリスクや金融市場の下振れリスク、政策動向による不確実性があり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、住宅建築業界におきましては、補助金などの住宅取得促進諸政策の継続、住宅ローン金利の低水準での推移などありましたが、半導体不足に伴う一部の住宅設備品の調達遅延、原油価格高騰やサプライチェーンの混乱などによる建設資材の価格上昇などの影響は依然として続いており、本格的な回復には至らない厳しい状況で推移いたしました。

当社グループでは、主に建設工事業において、新築建設物向けの工事件数は低調に推移したものの、既存の戸建住宅向けのリフォーム工事、集合住宅に対する補修・修繕工事、高効率給湯器の取替工事、注文戸建住宅及び分譲建売住宅の売却件数などが増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,149百万円(前年同四半期比1.2%増)となり、営業利益は277百万円(前年同四半期比18.9%減)、経常利益は303百万円(前年同四半期比15.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は199百万円(前年同四半期比16.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて452百万円増加し、6,965百万円となりました。主な増減は、棚卸資産の増加288百万円、現金及び預金の増加116百万円、新事務所建設予定に伴う土地の増加59百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて306百万円増加し、2,897百万円となりました。主な増減は、短期借入金の増加200百万円、長期借入金の増加92百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて146百万円増加し、4,068百万円となりました。主に利益剰余金の増加143百万円、その他有価証券評価差額金の増加2百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、2022年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,314,540	1,431,151
受取手形、売掛金及び契約資産	1,254,735	1,252,974
棚卸資産	877,444	1,166,153
その他	82,859	82,070
貸倒引当金	△1,368	△1,368
流動資産合計	3,528,212	3,930,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	942,749	954,459
土地	1,617,552	1,677,515
その他（純額）	13,378	12,273
有形固定資産合計	2,573,680	2,644,248
無形固定資産		
その他	8,047	10,856
無形固定資産合計	8,047	10,856
投資その他の資産		
その他	402,837	379,497
貸倒引当金	△400	△430
投資その他の資産合計	402,437	379,067
固定資産合計	2,984,165	3,034,172
資産合計	6,512,377	6,965,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	802,539	821,577
短期借入金	510,000	710,000
1年内返済予定の長期借入金	70,392	90,396
未払法人税等	91,529	9,057
賞与引当金	111,310	62,703
完成工事補償引当金	20,700	20,400
その他	291,391	379,898
流動負債合計	1,897,862	2,094,032
固定負債		
長期借入金	118,432	210,605
退職給付に係る負債	403,947	417,747
長期未払金	9,840	9,840
その他	160,385	164,829
固定負債合計	692,604	803,022
負債合計	2,590,467	2,897,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	3,569,627	3,712,850
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	3,899,628	4,042,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,281	25,248
その他の包括利益累計額合計	22,281	25,248
純資産合計	3,921,910	4,068,100
負債純資産合計	6,512,377	6,965,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	7,067,415	7,149,504
売上原価	5,168,093	5,267,528
売上総利益	1,899,321	1,881,975
販売費及び一般管理費	1,556,714	1,604,197
営業利益	342,607	277,778
営業外収益		
受取利息	13	93
受取配当金	1,543	2,096
受取手数料	2,509	2,413
受取保険金	1,639	9,772
受取賃貸料	14,461	13,936
その他	5,552	5,897
営業外収益合計	25,719	34,209
営業外費用		
支払利息	3,175	3,698
賃貸費用	3,851	3,984
固定資産除却損	1,253	—
その他	63	573
営業外費用合計	8,343	8,257
経常利益	359,983	303,730
税金等調整前四半期純利益	359,983	303,730
法人税、住民税及び事業税	96,812	77,170
法人税等調整額	25,146	26,592
法人税等合計	121,959	103,763
四半期純利益	238,024	199,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,024	199,966

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	238,024	199,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,733	2,966
その他の包括利益合計	△29,733	2,966
四半期包括利益	208,290	202,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,290	202,933
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,690,875	1,033,601	1,335,492	7,059,969	—	7,059,969
その他の収益(注)2	7,446	—	—	7,446	—	7,446
外部顧客への売上高	4,698,321	1,033,601	1,335,492	7,067,415	—	7,067,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	169	169	△169	—
計	4,698,321	1,033,601	1,335,661	7,067,584	△169	7,067,415
セグメント利益	198,279	184,155	149,713	532,149	△189,541	342,607

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,541千円には、セグメント間取引消去21,500千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△211,042千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,763,734	1,020,955	1,356,433	7,141,123	—	7,141,123
その他の収益(注)2	8,381	—	—	8,381	—	8,381
外部顧客への売上高	4,772,115	1,020,955	1,356,433	7,149,504	—	7,149,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	91	91	△91	—
計	4,772,115	1,020,955	1,356,524	7,149,595	△91	7,149,504
セグメント利益	186,643	166,323	110,486	463,453	△185,675	277,778

(注) 1. セグメント利益の調整額△185,675千円には、セグメント間取引消去20,890千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△206,565千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであり
ます。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間
(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

当社グループは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時点までに入手可能な情報に基づき、経済状況は緩やかに回復に向かうものの、業績への影響は一定期間続くものと仮定し、会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響は不確実性が高く、今後の感染拡大の影響により、会計上の見積りに影響を与える可能性があります。